



WorldYWCA

非暴力週間 2020

2020年10月18日~24日





WorldYWCA

非暴力週間2020

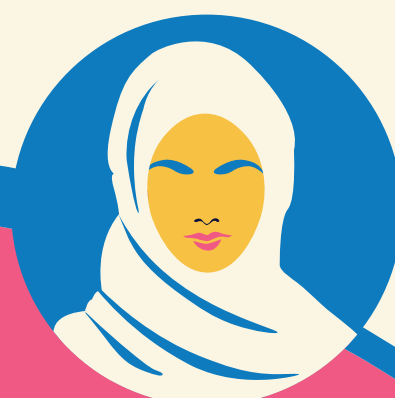
新型コロナウイルスは、ジェンダー不平等をますます悪化させています。
ジェンダーに基づく暴力(GBV)が増加しています。
これを見逃しておくことはできません。今すぐ行動しましょう!



このツールキットに含まれていること



世界YWCA非暴力週間について	4
今年起きたことについて	5
コロナ禍におけるジェンダーに基づく暴力を暴く	6
新型コロナウイルスはジェンダーに基づく暴力に関連する問題にどのような影響を与えたか	7
スティグマは「隔離」されない：周縁化されたコミュニティに対する新型コロナウイルスの影響	12
コロナ禍におけるインターネット上の安全性	16
SNS用メッセージのサンプル	17
オンラインでの若者の活動を活性化させる	23
メディア・エンゲージメント	24
ウェブ上のセーフスペースの実施	25
「喜びの杯」：女性のためのウェブ上のセーフ・スペースの創造	27
個人・組織・ウェブ上での活動	29
参考資料	31



YWCA 非暴力週間は、女性や若い女性、少女に対する暴力の撤廃を目指して毎年行われる、世界的なキャンペーンです。

この1週間では、コミュニティで起こる暴力を終わらせるために、個人・グループが意識を向上させ、考え方を革新し、そしてアクションを起こすことに焦点が置かれます。毎年10月の3週目に、世界中のYWCAが非暴力週間、つまり、暴力のない世界をつくるために多様なアプローチをもって、コミュニティでさまざまなイベントを行う1週間を持ちます。YWCA 非暴力週間は暴力のない世界に向けて、コミュニティに考え、行動するよう呼びかけます。YWCAでは、「暴力のない世界」に、意思決定における女性の発言の強化や、リーダーシップおよび平和構築、女性の経済的エンパワメントの促進、女性・若い女性・少女に対する暴力の終焉、そして若い女性が繋がり合い、動かし、互いに刺激し合う新しい方法を見つけることが含まれていると考えています。これによって、集合的にアクションを起こすことができるからです。

すべての女性、若い女性、少女が安全であり、あらゆる形態の恐怖や暴力から自由に生きる権利を持つべきであり、また女性、若い女性、少女に対する暴力に反対することを優先的に行わなければならないと信じています。私たちは、地域や国、地区、国際的なレベルでアドボカシー活動、教育プログラム、回復に向けた働き、支援活動を通じて、女性・若い女性・少女に対する暴力をきっぱりと終わらせるために、女性の変革的なリーダーシップを動かすことを目指しています。

以下のツールキットでは、10月18日から24日までの「非暴力週間」の間に活動を企画し、アドボカシー活動をするための内容やアイデアを紹介します。

ABOUT
WORLD YWCA
WEEK
WITHOUT
VIOLENCE



WorldYWCA



WorldYWCA

非暴力週間2020

今年起きたことについて

毎年10月の第3週には、世界中のYWCAが「非暴力週間」に参加します。私たちは、女性、若い女性、少女の人権とリーダーシップを推進するダイナミックな運動体として、共通のビジョン、レガシー（過去の遺産）、そして未来を考察します。今年は、新型コロナウイルスの影響で、ほとんどの活動はオンラインで行われることとなりますが、この世界的な感染症の蔓延の中においても、YWCAとは、リーダーによる世界規模の運動体であり、また女性の安全を確保するための働きでもあります。このツールキットでは、女性の権利擁護を目指すリーダーが、現在の状況下における自身の働きや現実を語るができるよう、YWCAのウェブ上でのセーフ・スペースを用いることを提案します。これは、19世紀以来、私たちの活動の中心となってきたYWCAのセーフ・スペース・モデルの適応形態であります。

過去に生じた医療危機は、女性と少女に対する暴力が、新型コロナウイルスの蔓延の影響として永続的に悪化する可能性が高いことを示しています。女性、若い女性、少女に対するあらゆる形態の暴力は、人権の侵害であり、社会的・経済的に見ても大きな損失となります。世界YWCAは、現実に合わせてアプローチを取り、この危機とロックダウンに対応してきました。重要なことの一つは、女性運動が団体を超えてオンラインに集結し、コンサルテーションを行うことです。非暴力週間が始まる前、私たちはオンラインで女性や若い女性を対象にSNSでコンサルテーションを行いました。その結果、新型コロナウイルスの蔓延とジェンダーに基づく暴力への影響について啓発し、提唱することが、女性や若い女性、少女に対する暴力の根絶に向けて前進し、その影響を可能な限り最小限に抑えるために必要であることが明らかになりました。

コロナ禍におけるジェンダーに基づく暴力を暴く

世界は感染症拡大の真っ只中にあり、目に見える形で不平等が露呈しています。感染症の蔓延のジェンダー化された影響というのは、女性の権利と、それがこの期間にどのように顕在化するかについての分析を呼び起こしています。例えば、アフリカの女性は2つの感染症の蔓延を経験しており、ケニアでは5ヶ月間のロックダウン中に3,954人の女子生徒が妊娠したと言われています。女性と少女は感染症の蔓延の影響を受けており、彼女たちは当たり前のように介護者であると期待されているため、無償のケアワークという形での労働を強いられ、性的暴力やジェンダーに基づく暴力、メンタルヘルスの不調に関するリスクが高くなっています。世界保健機関(WHO)は、メンタルヘルスへの投資を拡大する必要性を呼びかけています。感染症の蔓延をきっかけに、メンタルヘルスが歴史的に軽視されてきたことに注目を促しています。

新型コロナウイルス感染症と、女性、若い女性、少女へのその影響に関する図式「世界YWCAの氷山モデル」では感染症がもたらした現実を描いていますが、ジェンダーに基づく暴力は悪化の道をたどっています。YWCAはこの戦いの最前線にいます。

地域社会でこの問題を解決するために、世界中のYWCAにさらなる支援を呼びかけようではありませんか。

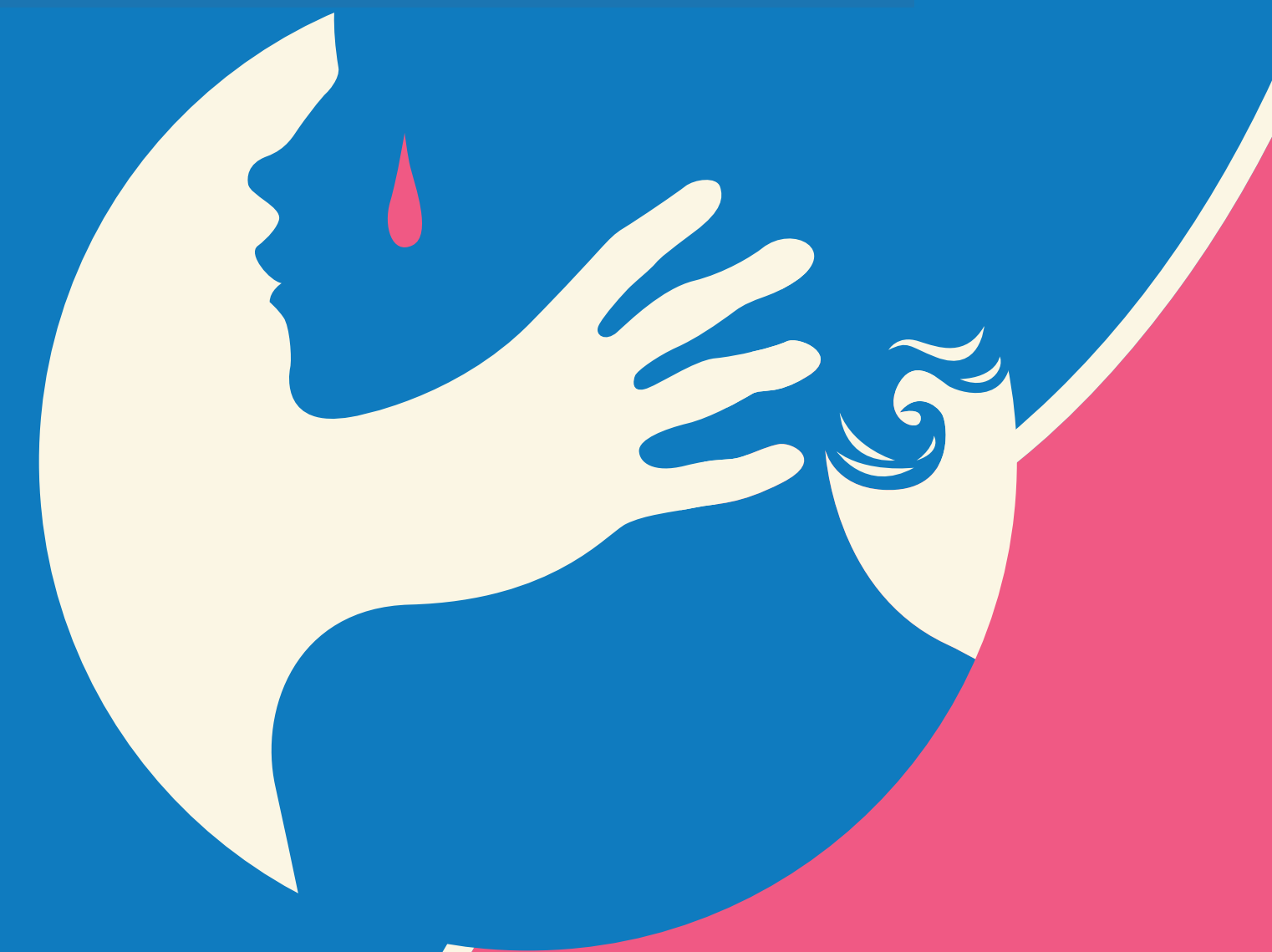


新型コロナウイルスはジェンダーに基づく暴力に関連する問題にどのような影響を与えたか

DV(ドメスティック・バイオレンス)

世界中で、過去12ヶ月間に2億4,300万人の15～49歳の女性と少女が、親密なパートナーから性的・身体的暴力を受けたことが報告されています。新型コロナウイルス感染症の蔓延は続いており、多くの女性がいまだに虐待をふるうパートナーと同じ家の中に閉じ込められているため、この数は増加すると思われる。暴力を経験した女性の40%未満の人が助けを求めたり、その暴力被害を報告していますが、その助けを求めた人のうち、警察に行った人は10%にも達していません。詳細はこちらをご覧ください。

性的暴行事件のうち、警察に報告されたケースはわずか23%となっています。コロナ禍で報告されたケースに関して、被害者は、必要な相談機関等のリソースにアクセスすることがますます困難になっています。続きはこちらで。





WorldYWCA

フェミサイド(女性殺害)

国連によると、ラテンアメリカでは毎日12人の女性が性別を理由に殺害されています。これは「フェミサイド」と呼ばれる犯罪で知られていますが、世界で最もフェミサイドの発生率が高い25カ国の14カ国がこのラテンアメリカに集中しています。アルゼンチンでは、政府が定めた隔離政策の最初の20日間で、18人の女性がパートナーや元パートナーに殺されています。アルゼンチンの電話相談サービスへの問い合わせは40%近く増加しています。詳細はこちらをご覧ください。



性虐待

世界的に、女性の3人に1人が、生涯の内に親密なパートナーからの身体的・性的暴力、またはその他の加害者からの性的暴力を経験していると言われています。感染症の蔓延のような危機的状況にある時には、家庭内の緊張感が高まるため、さまざまな形態のドメスティック・バイオレンスのリスクが高くなる可能性があります。コロナウイルスの広がりを止めることを目的とした隔離政策は、家庭内暴力をより頻繁に、より深刻に、より危険なものにしている可能性があります。詳しくはこちらをご覧ください。



ネット上での虐待

世界中で15億人以上の学生が学校閉鎖の影響を受けており、多くの学生が性犯罪者の被害を受けています。若者がオンライン上で過ごす時間が増えていることを利用して、加害者は性行為の強制やセクストーション（相手の性的な写真や動画を入手し、インターネット上で公開したり、友人や知人に見せたりするなど脅迫する行為）によって子どもたちを搾取しようとしています。少女たちは特に脆弱な存在で、オンライン上にある児童虐待のコンテンツとして出回っているものの90%を占めています。さらに、現在、世界のほとんどの地域でロックダウンが発生しているため、人々はオンラインで過ごす時間が増え、それに伴いネット上のデジタル・コンテンツの量も増えています。それにより、コンテンツを精査することが難しくなっています。詳しくはこちらをお読みください。

ジェンダーに敏感な女性・平和・安全保障のアジェンダ

特に性と生殖に関する医療や生計、テクノロジーそして感染症に関する情報へのアクセスが紛争のために制限されている地域において、女性・平和・安全保障に関するアジェンダは、感染症の蔓延の影響を大きく受けています。難民、移民、避難民女性のためのコミュニティケアや人道的努力への資金提供を後押しするようなジェンダーに敏感な戦略の導入が急務となっています。すべての停戦交渉には、ケアの最前線に多くの女性がいることが多く、女性の平和構築活動家を含めなければなりません。それにより、紛争中および紛争後のコミュニティにおいて、紛争の最悪の結果に耐えることができます。詳細情報はこちら。





難民女性に対するジェンダーに基づく暴力

世界中で、約7,100万人、つまり108人に1人が強制的に家を追われています。これらの人々の大半は、医療インフラが弱く、十分な資源がない国に住んでおり、現制度がこの規模の危機に対応できる可能性は低いと思われま

難民やその他の強制避難民にとって、親密なパートナーからの暴力はジェンダーに基づく暴力の中でも最も蔓延している形態となっており、気づかぬままに急速にエスカレートしていています。シリア難民の女性は、家族が女性や少女をレイプとその社会的影響(性的暴行を受けたことによって結婚できなくなることを含む)から「守ろう」としているため、また、結婚以外に経済的に安定する選択肢がほとんどない極度の貧困に直面しているため、強制的な早期結婚を経験する可能性があります。シリア難民の少女の23%が18歳になる前に結婚しているのです。レイプやその他のジェンダーに基づく性的暴力への恐怖は真つ当なもので、それというのも難民から報告された4件に1件のケースはジェンダーに基づく性的暴力であるからです。

コロナ禍においても、女性にとっての最大のリスクは家庭内にあります。多くの国の政府が新型コロナウイルス感染症の蔓延を抑えるために課した「ステイ・ホーム」が、結果女性と少女にとって重大なリスクを生み出すことになってしまったのです。詳細はこちら。[\[1\]](#), [\[2\]](#), [\[3\]](#)

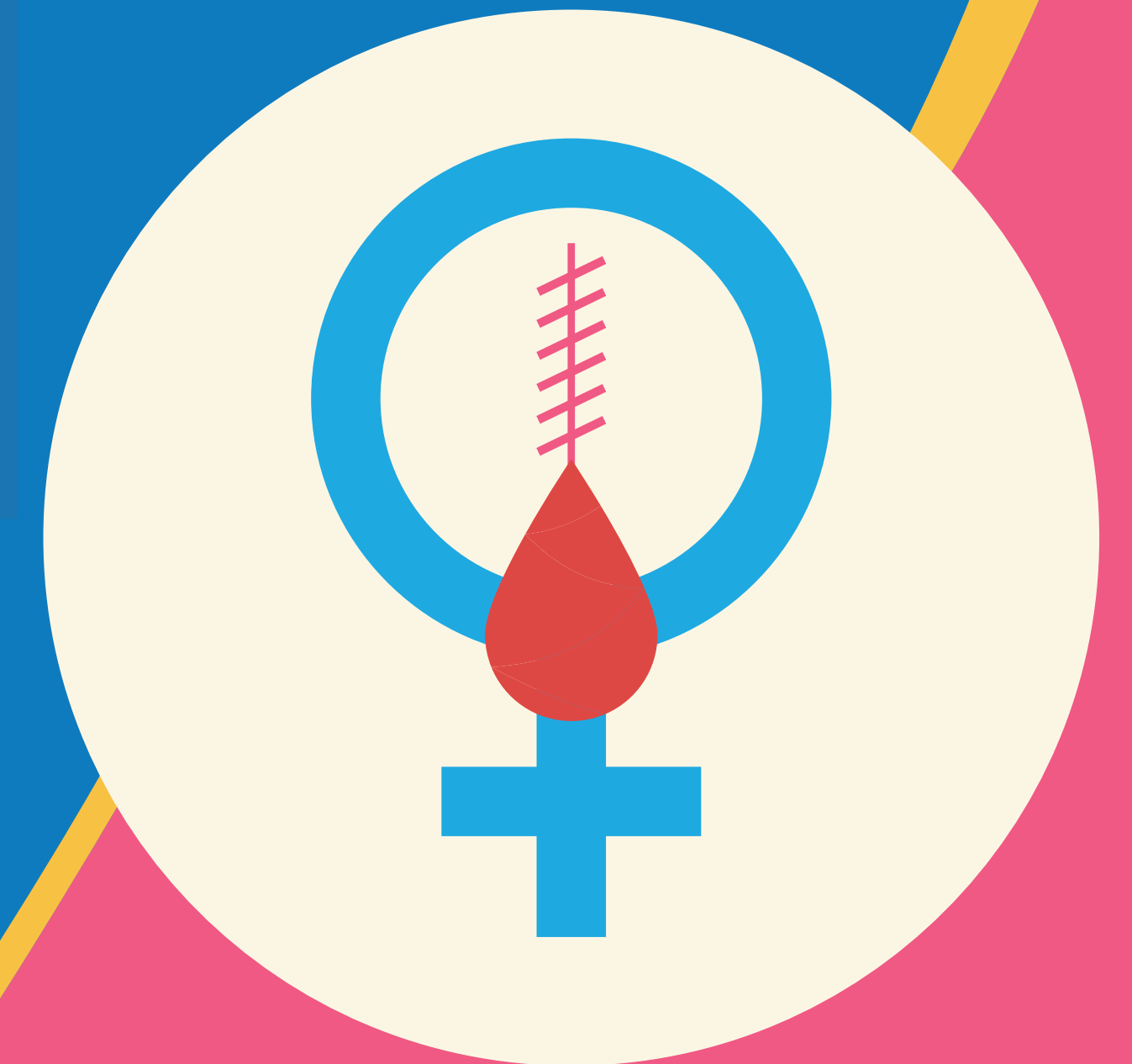
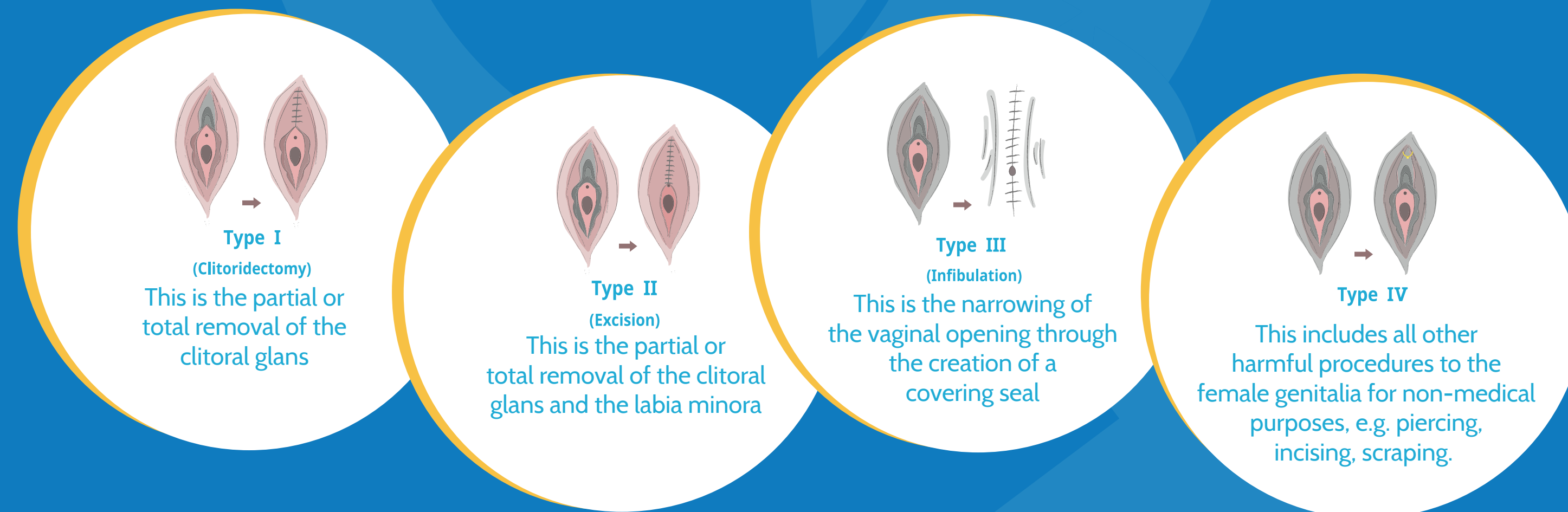


女性性器切除 (FGM)

女性性器切除 (FGM) は、女性の外性器の一部または全部を切除すること、あるいは医学的理由以外の理由で女性の性器を傷つけることを伴うすべての処置を含む行為です。FGM は、少女と女性の人権侵害として国際的に認識されています。

これは男女間の根深い不平等を反映しており、女性に対する極端な差別の現れです。コロナ禍において、そしてロックダウンによって、より多くの若い女性と少女がFGMの影響を受ける危険にさらされています。

詳細はこちらをご覧ください。





スティグマは「隔離」されない： 周縁化されたコミュニティへの新型コロナウイルス の影響

セックスワーカー

セックスワークが犯罪であることは、コロナ禍で、セックスワーカー達が直面している最大の課題となっています。この仕事はほとんどの国で違法と見なされているため、コロナ禍におけるセックスワーカーの窮状に対する政府による補償は存在していません。夜間外出禁止令が厳格に定められている場合、セックスワーカーが国家当局や客から暴力、暴行、ハラスメントを受けるケースが増加しています。政府の救済措置、医療サービスへのアクセス、夜間外出禁止時間の緩和、資金調達など、パンデミックに対する政府の対応にセックスワーカーがアクセスできるようにすることが急務です。また、さらに重要なのは、セックス・ワークを非犯罪化することだと言えます。

詳細はこちら。

セックスワーカーの権利に関するポッドキャストを聴くには、[ここをクリックしてください](#)。





WorldYWCA

障がい者

障がいのある女性、若い女性、少女は、世界で5人に1人おり、低・中所得国の障がい者の4分の3を占めています。

人口比に対して、慢性的な貧困、社会的孤立、暴力や性的虐待の被害者になる高いリスク、性的と生殖に関する権利の否定、地域社会における支援へのアクセスの欠如、アクセス可能なコミュニケーションや情報の欠如、不十分なヘルスケア、法的能力の欠如、教育や雇用の機会の欠如、司法へのアクセスにおける障壁、スティグマや能力主義などの態度の上での障壁など、障害のある女性や少女は、生活のあらゆる分野で複数の、そして交差する形での差別に直面しています。

これらの排除や障壁、および差別は、新型コロナウイルス感染症の蔓延とその対応に関しても同様に言えます。

障がいのある女性と少女は、ウイルスへの暴露や合併症のリスクを高める可能性があり、また隔離の負の影響を偏って受けています。

詳しくはこちらをご覧ください。





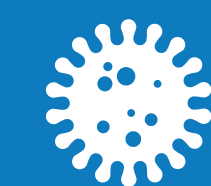
WorldYWCA

セクシュアル・マイノリティ

医療システムはコロナウイルスの蔓延に終止符を打つことに焦点を当てているため、メンタルヘルスや性に関するカウンセリングなど、LGBTQIA2S+（レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クィア、インターセックス、アセクシャル、トゥースピリッツ（北米先住民族の女性でも男性でもある人たち）など）のコミュニティにとって他の重要なサービスにアクセスすることが難しくなっています。多くの国では、医療インフラへの需要が急増したため、HIVやその他の検査が中止されており、肝心の医療を受けることができないため、多くのマイノリティの人々がより高いリスクにさらされています。

アルゼンチンでは、新たに設立された「女性・ジェンダー・多様性」省が女性とLGBTQIA2S+に関する質の高いデータ収集に注力するグループと協力しています。世界銀行とともに、アルゼンチン政府はジェンダーに基づく暴力の増加と、新型コロナウイルス感染症がLGBTQIA2S+の人々に与える社会経済的影響に対処するための戦略を模索しているところです。

詳細はこちらです。





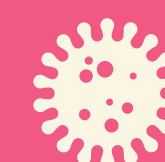
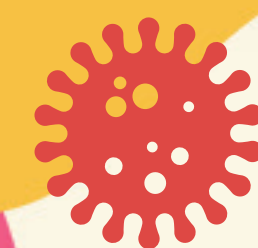
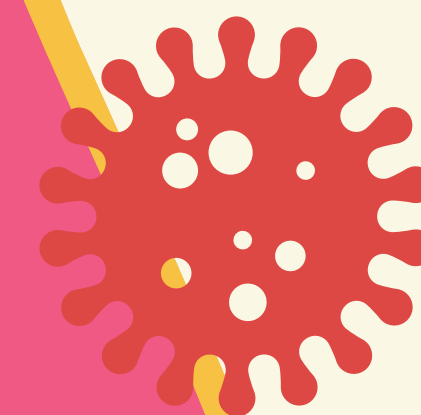
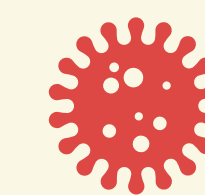
WorldYWCA

メンタルヘルスへの懸念がある人

非営利の国際援助組織であるCAREが実施した調査によると、コロナウイルスの流行による不安や心配、精神的な疲労から免れることのできている人はほとんどいませんが、女性は男性の約3倍も高い精神的な健康被害を受けていることが明らかになりました。

「発展途上国」のバングラデシュでは、コロナ禍に解雇された女性の割合は男性の6倍となっており、調査した542人の女性の内全員、100%がメンタルヘルスに関する懸念が増加したと報告されています。しかし、宗教上の理由で家族の男性メンバーの同伴なしに家を出ることが禁じられていたり、公共交通機関を利用できないために移動手段がないことが、精神的な負担を悪化させているような状況があります。いずれにしても、これにより精神面へのケアなどのサービスへのアクセスが制限されており、同時に多くの女性たちがそれを切実に必要としている状況にあります。

より多くの情報はこちらから。



コロナ禍におけるインターネットの安全性

パンデミックの影響で多くの活動がインターネット上に移り、多くの人々が、プライバシーの問題やオンライン空間の安全性を含め、デジタル空間に存在することの意味を再認識しています。特にオンラインでのジェンダーに基づく暴力に関しては、ほとんどの国がオンライン上で女性やクィアな人々を守るためのきちんとした保護法を持っていないため、問題が拡大しているような状況です。

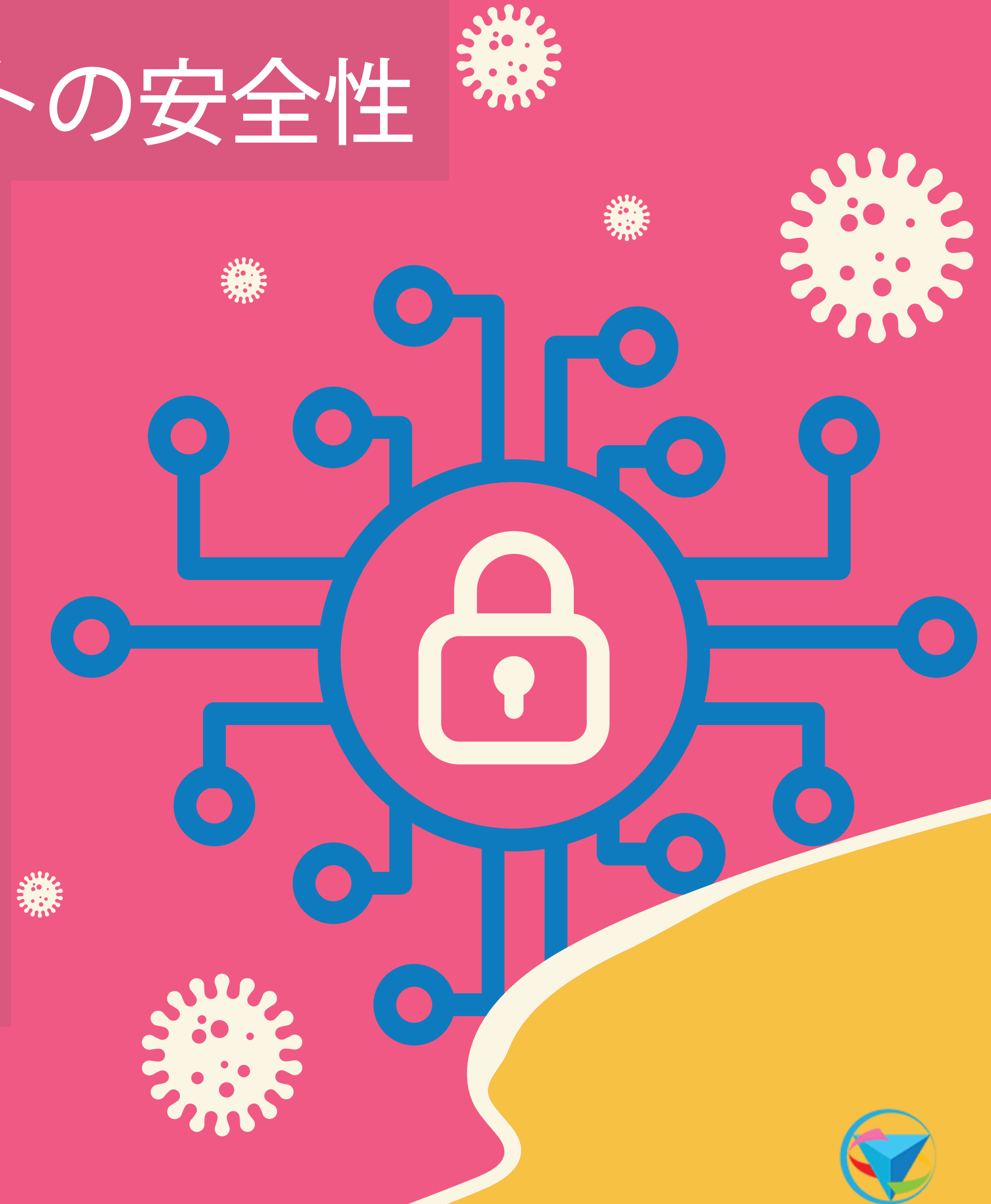
さらに問題なのは、オンライン上での暴力の被害者が、時にはその人が経験したことが暴力だったと認識していないことがあります。オンラインでの暴力は些細なもの、あるいは存在していないと見なされており、また物理的な影響を与えないことが、そのような認識の背景にあります。

オンラインで何か企画をする時には、オンラインスペースが安全で、アクセスしやすく、誰をも排除しないインクルーシブな場所であることを保障しなければなりません。

物理的な距離を取ることは、新型コロナウイルス感染症を押しえ込むために重要な優先事項ですが、だからといって、お互いを支え合ってはいけないという意味ではありません。

コロナ禍で、女性たちが支え合うために役に立つツールをご紹介します。

[1], [2], [3], [4]





SNS用メッセージのサンプル

非暴力週間2020用 : #WWV20 #YoungWomenLead #YoungWomenRise #WeekWithoutViolence2020
ハッシュタグ

FacebookとInstagram用メッセージ例文

自宅は本当に誰にとっても安全な空間なのでしょうか?多くの女性や若い女性、少女たちが、加害者によって隔離され、逃げ場のない自宅に閉じ込められています。手遅れになる前に、今すぐジェンダーに基づく暴力の流行に対処しましょう。女性団体を支援して、ジェンダーに基づく暴力の防止を優先的課題とし、資金増加の手助けをしましょう。今すぐYWCAにご寄付を!

#WWV20 #YoungWomenLead #YoungWomenRise #WeekWithoutViolence2020

Is home truly a safe space for everyone? Many women, young women and girls have been quarantined with their abusers and locked down at home with nowhere to run to. Let us address the pandemic of GBV now, before it is too late! Prioritise and increase funding for GBV prevention by supporting women-led organisations.
Donate to YWCA NOW!

自宅で安全に過ごすということは、誰もが自宅で安全だと感じるということではありません。コロナ禍では、ロックダウンの状況下でレイプや10代の妊娠のケースが増えています。調査によると、性的暴行の約80%は被害者の知り合いによるもの。67%が加害者を家族と特定し、79%がその加害者と同居していると答えています。若い女性は、安全で暴力から解放された時に行動を起こします。YWCAが提供するセーフ・スペースは今、非常に重要なのです。暴力のない世界を作るために、あなたの地域のYWCAをご支援ください。

#WWV20 #YoungWomenLead #YoungWomenRise #WeekWithoutViolence2020

Stay safe stay at home doesn't mean feeling safe at home for everyone. During the COVID-19 pandemic the numbers of cases of rape and teenage pregnancy have increased due to the lockdown. According to a survey, approximately 80% of sexual assaults are committed by someone known to the victim. 67% identify their perpetrator as a family member, and 79% said they were living with that perpetrator. #YoungWomen lead when they are safe and free from violence. YWCA safe spaces are critical right now. Support your local YWCA to create a world free from violence.



FacebookとInstagram用メッセージ例文(英語)



Gender Based Violence cases have increased by 12% since the outbreak of COVID-19 pandemic and most cases are vastly under reported mainly due to lack of access to services as victims are confined with their perpetrators at homes. There is a need to ensure that #GBV survivors access psychological support, legal information, counselling and referral to shelters and protection services is a matter of strong concern.

#WWV20 #YoungWomenLead #YoungWomenRise
#WeekWithoutViolence2020

Women spend three times as many hours as men in unpaid care and domestic work limiting their access to decent work, with the COVID-19 pandemic women have been disproportionately affected by cuts and lay-offs limiting their ability to support themselves and their families. The dual burden of mental and physical trauma is creating adverse effect on women. Raise your voice now. Join YWCAs and support women, young women and girls.

#WWV20 #YoungWomenLead #YoungWomenRise
#WeekWithoutViolence2020

Female genital mutilation is a retrogressive form of culture that is still practiced in many of our African societies. This must be addressed by the state and governments to ensure that we put an end to it. Support young women to advocate to #ENDFGM. donate.worldywca.org #MyBodyMyMind Learn more on what is FGM watch [Afia's story](#)

Rape is not normal! Intimate partner violence is not normal! Child marriage is not normal! Female genital mutilation is not normal! They are all forms of violence! It is important to speak up against normalising gender based violence. Break the silence against #VAWNOW! Watch [Better world is possible](#).

#WWV20 #YoungWomenRise #WeekWithoutViolence2020

Evidence shows that rates of sexual violence increase during states of emergency, including natural disasters, active conflict, and health crises. The first step to addressing gender based violence is by declaring it a national disaster! How many more lives should we lose before this?

#WWV20 #YoungWomenLead #YoungWomenRise
#WeekWithoutViolence2020

Twitter用メッセージ例文 (英語)

1 in 4 countries have no laws specifically protecting women from domestic violence. How can we ensure that governments establish new policies and laws to protect women and establish a proper justice system to punish the perpetrators. Watch [Apinya's story](#) and how she broke this cycle.

#WWV20 #YoungWomenRise #WeekWithoutViolence2020

Violence against women and girls is universal but at the same time widely under-reported. Less than 40% of women who experience violence report these crimes or seek help of any sort. Gender Based Violence is not ok and will never be ok, let's talk about it.

#WWV20 #YoungWomenRise
#WeekWithoutViolence2020

Child marriage is a global issue that cuts across countries, cultures, and religions. Around 650 million women and girls alive today were married as children. Unless we accelerate our efforts, 150 million more girls will be married by 2030. We need to protect the future of girls. Watch [Muskan's story](#)

#WWV20 #YoungWomenRise #WeekWithoutViolence2020

The global statistics indicate that 13 million girls could be forced into child marriage, and two million more could undergo FGM in the next decade, beyond what would have been expected as Covid-19 disrupts global efforts to end both practices. #Childmarriage is a human rights violation we NEED to End it NOW!

#WWV20 #YoungWomenLead #YoungWomenRise
#WeekWithoutViolence2020



WorldYWCA

Twitter用メッセージ例文(英語)

The global cost of #VAW had previously been estimated at approximately US\$1.5 trillion. That figure can only be rising as violence increases now and continues in the aftermath of the pandemic #COVID19. Join the YWCA in their work towards ending GBV.

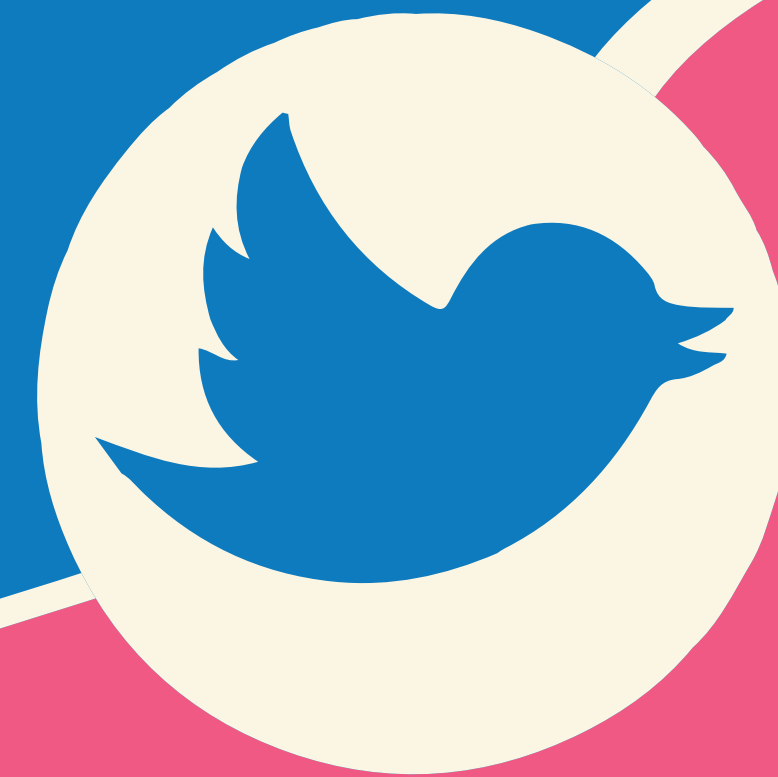
#WWV20 #YoungWomenRise #WeekWithoutViolence2020

Although coronavirus has distanced many of us , it has not stopped sex-based harassment and violence. In the previous 12 months, 243 million women and girls aged 15-49 across the world have been subjected to sexual or physical violence by an intimate partner. As the COVID-19 pandemic continues, this number is likely to grow with multiple impacts on wellbeing of women, young women and girls.

#WWV20 #YoungWomenRise #WeekWithoutViolence2020

Sexual Harassment didn't disappear with COVID-19 social distancing or restrictions it's happening online and is manifested in different forms not just physical. Women are facing increased stalking, bullying and sex trolling. Unsolicited pornographic videos while dialling into a social event via a virtual chat room is on the rise. Join us as we advocate for cyber safety of women.

#WWV20 #YoungWomenRise #WeekWithoutViolence2020





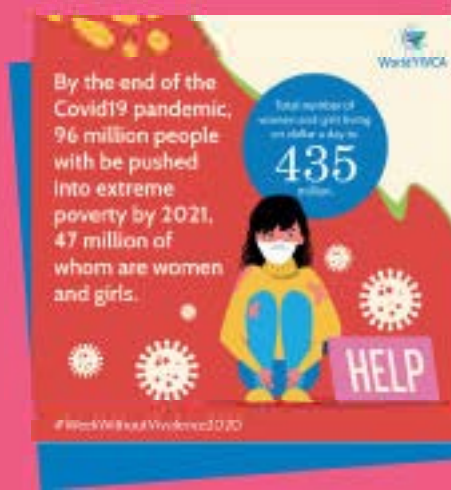
WorldYWCA

画像とダウンロード

FacebookとTwitter用

English

英語



French

フランス語



Spanish

スペイン語





WorldYWCA

画像とダウンロード

FacebookとTwitterのカバー写真用

画像をクリックするとFacebook用カバー写真をダウンロードすることができます



ENGLISH



FRENCH



SPANISH

画像をクリックするとTwitter用カバー写真をダウンロードすることができます



ENGLISH



FRENCH



SPANISH

この非暴力週間のキャンペーンに関連したSNS用の画像などのリソースは、[こちら](#)からダウンロードすることができます。
このページは毎日更新され、もっと多くのリソースを入手することができます。



オンラインで 若者の活動を活性化させる

ジェンダーに基づく暴力をめぐる問題を解決するためには、若者の活躍が欠かせません。より多くの若者や若い声を活性化するために、Tiktokのようなオンライン・プラットフォームが、エンゲージメントの手段となってきます。特に若者がソーシャルメディアのプラットフォームやアプリをより積極的に使用していることを考慮し、特にコロナ禍において、深刻化するジェンダーに基づく暴力に関する感度を高めるために、オンラインプラットフォームの利用を提案します。「ジェンダーに基づく暴力を止めよう (Stop GVB)」、「No means no」、「家父長制をぶっ壊せ (Smash the patriarchy)」、「ジェンダーに基づく暴力の沈黙を破ろう (Break the silence against gender based violence)」などのスローガンを含む動画を作成し、ハッシュタグ [#WeekWithoutViolence2020](#) と [#WorldYWCA](#) を使用してください。

“Stop Violence Challenge” に友達と参加したり、バナーやストーリーを投稿したり、ジェンダーに基づく暴力に反対するスローガンを書いたTシャツを着たり、[#WeekWithoutViolence2020](#) のハッシュタグを使って、[@WorldYWCA](#) をタグ付けしてください。





メディア・エンゲージメント

メディアは、トラウマを美化し、女性の経験の残忍さを中心とするセンセーショナルな方法で女性、若い女性、少女に対する暴力についての話をすることを避けたり、ジェンダーに配慮した報道を行う上で重要な役割を担っています。代わりに、女性に対する暴力が増大するのを許容している制度的な不平等について、多角的で、よく研究された視点を提供すべきです。ナショナルおよび地域YWCAは、このコロナ禍においてメディアが正しい役割を果たすことを確実にする上で、強力な役割を果たすことができます。

メディア・エンゲージメントの実用的なヒント

- ジェンダーに基づく暴力のトラウマを追体験させるようなセンセーショナルでドラマチックな見出しは避ける。
- ジェンダーに配慮した報道に関するトレーニングについてメディアに働きかける。
- NGO や司法機関を含む様々な情報源と協力して、暴力に関する情報や統計を提供し、女性に対する暴力という幅広い問題についての徹底的な調査報道を行う。



ウェブ上のセーフスペースの実施

世界YWCAのウェブ上のセーフ・スペースガイドを使って、非暴力週間の中にウェブ上のセーフ・スペースをつくってみましょう。

YWCAのセーフ・スペース・モデルに基づき、バーチャル・セーフ・スペースは、以下の8つの要素から構成されます。



アクセスしやすく、
安全な場所



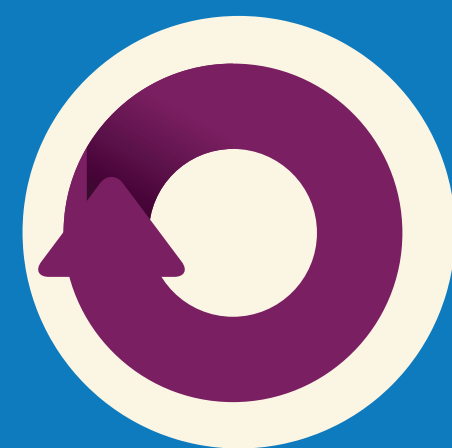
リーダーシップと参加型



正確で信頼できる情報



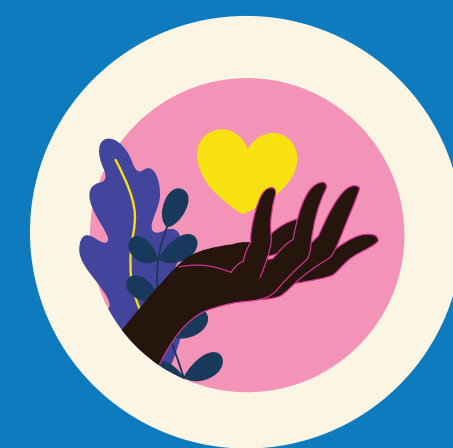
信頼の構築



包括的なアプローチ



多世代間協働



尊厳と尊敬



パートナーシップ
と説明責任





最も良い形でウェブ上の セーフ・スペースをつくるには

トピックの例

- ・世界中の少女と若い女性に対する新型コロナウイルス感染症のジェンダー化された影響には何がありますか？
- ・夜間外出禁止令や物理的距離、ロックダウンなどの政府による新型コロナウイルス感染症に対する対応・制限は、若い女性と女性にどのような影響を及ぼしていますか？
- ・コロナ禍において少女と若い女性によって生み出され、そして政府と政策立案者が拡充すべきイノベーション（革新）には何がありますか？
- ・政府の新型コロナウイルス感染症への対策が、少女と若い女性のニーズに合うようなジェンダーに敏感なものであることを保証するためにはどのような方法がありますか？
- ・女兒や若い女性が経済的な牽引役の大半を占めているような、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている特定の分野はありますか？
また、経済的な落ち込みから少女や若い女性を守るためにどのような戦略を取るべきでしょう？
- ・コロナ禍で増大するジェンダーに基づく暴力への国家レベルでの対応としてどのようなものがありますか？
- ・新型コロナウイルス感染症の蔓延： 女性や少女に対する暴力への闘いを担う組織への新しいアプローチを發明する



「喜びの杯」

女性のためのウェブ上のセーフ・スペースの創造

現在のコロナ禍では、外出してお互いのためにスペースを確保することは難しくなっています。そのため、健康的でかつ有意義な方法で、緊張をほぐすために私たちを一つにするこの「喜びの杯」のコーナーが緊急に必要なのです。私たちの存在を証明するためにワインを飲む必要はなく、むしろ、安全な空間で私たちの生きた経験を共有することを意図しています。水、お茶、コーヒー、ジュースを用意しておきましょう。

最後に一杯の喜びを分かち合い、運動内の人と繋がり合う機会を得たのはいつでしたか？

さて、ここでは、あなたのくつろぎの時のためのウェブ上のセーフ・スペースを創造する上で、覚えておくべきヒントをお伝えします。

- ウェブ上のプラットフォームを選択してください。
- それは、アクセスしやすいプラットフォームですか？インターネットの帯域幅、言語と翻訳、ダウンロードといった側面について考えましたか？
- 誰をそのスペースに招待しますか？
- ネット上でのいじめについて、どのように考慮していますか？
- スペースの中で機密性やプライバシーはどのように確保していますか？どのようにウェブ上のセーフ・スペースを実施していますか？
- 事前にプラットフォームをテストしてください。



「喜びの杯」

女性のためのウェブ上のセーフ・スペースの創造

- 質問を準備してください。
- ファシリテーターを設定してください。
- 参加者を招待し、他に誰が参加するかを知らせましょう。誰が参加するのかを知っていると、人々はより快適に感じます。
- 「対話と尊敬」のためのガイドラインと基本的なルールを設定します。セーフ・スペースの参加者には、常に尊敬し合う状況にあることを保証するために同意を求めます。必要に応じて匿名性を確保しましょう。
- すべての参加者が大切にされ、尊重されます。
- 会話は秘密厳守とし、ディスカッションの内容について外部で共有することを合意しない限り、「グループ内でのことはグループ内にとどめます。」
- それぞれの人の発言時間について話し合ってください。
- 全員が話すことができるようにし、静かな人が発言できるようなスペースも確保しましょう。



個人でできる行動

ソーシャルメディアのプラットフォームに積極的に参加する。指定されたハッシュタグを使用し、World YWCAのタグを付けて投稿する。

毎年15,000万人の少女が18歳になる前に結婚しています。毎分、28人の少女が結婚していることとなります。(午前1時28分と午後1時28分に、オレンジ色の服を着た自分の写真を、「これ以上沈黙するのは止めよう。ジェンダーに基づく暴力にストップ (No longer silence. Stop GBV)」とキャプションを付けて投稿してください。

コロナ禍でのジェンダーに基づく暴力に関する生きた経験について語ったポッドキャストを作成する。

ブログを書き、世界YWCAのSheSpeaksというプラットフォームで共有する。



WorldYWCA

組織としてできる行動

教会や街の長老やリーダー、女性グループなど、地域の影響力のある人たちを巻き込んで、その地域の言葉や簡単な言葉を使って歌や物語を語りましょう。その際、感染症対策に従うことをお忘れなく。

コミュニティでスポーツーナメントを開催して、アドボカシーのためのメッセージを拡大させる。その他の情報資料とともに会場のブランド化を図ってみてください。感染症対策に従うことをお忘れなく。

自身のSNSアカウントを使って、オンライン上で暴力に反対する抗議活動を展開する。

ウェブ上での活動

申込み後、参加者が自動的に商品の抽選会に参加できるようなウェブ上でのオープンデーを企画する。

地域のメディアを通じて公共サービスの広報を行う。その際、信頼できる情報提供ができるコミュニティヘルスワーカーなどの専門家を招待する。

フィットネスやセルフケアのような活動を企画する。例えば、仮面舞踏会、スポークン・ワード(歌詞、詩、物語を「歌う」というよりは「話す」、文学の芸術、または芸術的パフォーマンス)や詩、ヨガなど

「喜びの杯」の夕べ(できれば、非暴力週間の最終日に)を企画して、参加者がジェンダーに基づく暴力に関連した働きの経験を共有できるような部屋/リラックスできるセッションを用意する

個人でできる行動

地域のフェミニスト作家を引用し、鍵となるメッセージを非暴力週間のハッシュタグを付けて投稿する。

Whatapp／ライン上で、ジェンダーに基づく暴力を生み出し続ける原因になっているジェンダー・ステレオタイプに関する議論を企画する。

「暴力にストップ・チャレンジ (Stop Violence Challenge)」を企画する。明るい場所で自身の写真を撮り、ジェンダーに基づく暴力のキャプションと、世界YWCA非暴力週間のハッシュタグを使って投稿してください。友達をタグ付けし、このチャレンジに参加してもらいましょう。

組織としてできる行動

ジェンダーに基づく暴力に関するディスカッションシリーズを企画する。政策立案者、フェミニスト活動家、地域の女性団体を招待し、ジェンダーに基づく暴力に反対する働きにおける画期的出来事について共有してもらいましょう。

ジェンダーに基づく暴力を生み出し続ける原因になっているジェンダー・ステレオタイプに関するオンラインでの議論を企画する。



ウェブ上での活動

非暴力週間を通して公開する特定のトピックに関するポッドキャストを考える。

ジェンダーに基づく暴力の解決策を生み出すための集団的知性を利用するために、「問題解決のためのセッション」を企画する。



WorldYWCA

参考資料

ジェンダーに基づく暴力

- [KICTANet: Online gender-based violence in times of COVID-19 World Health Organization](#)
- [Media Coverage of gender-based violence HandbookThe Role of Data in Addressing Violence](#)
- <https://www.unwomen.org/en/news/stories/2020/4/statement-ed-phumzile-violence-against-women-during-pandemic>
- <https://www.unwomen.org/en/digital-library/multimedia/2020/4/infographic-covid19-violence-against-women-and-girls>
- <https://www.un.org/sexualviolenceinconflict/wp-content/uploads/2020/06/report/policy-brief-the-impact-of-covid-19-on-women/policy-brief-the-impact-of-covid-19-on-women-en-1.pdf>
- <https://www.unwomen.org/-/media/headquarters/attachments/sections/library/publications/2020/issue-brief-covid-19-and-ending-violence-against-women-and-girls-en.pdf?la=en&vs=5006>
- <https://reliefweb.int/report/world/gender-matters-covid-19-s-outsized-impact-displaced-women-and-girl>
- <https://www.globalcitizen.org/en/content/femicides-in-argentina-rising-under-covid-lockdown/>
- [COFEM Feminist Pocketbook](#)
- <https://reliefweb.int/report/indonesia/reaching-domestic-violence-survivors-amid-pandemic>
- <https://www.saiglobal.com/hub/blog/sexual-harassment-in-a-changing-workplace-through-the-context-of-culture-and-covid-19>

児童婚／女性性器切除 (FGM)

- <https://www.aljazeera.com/news/2020/06/30/covid-19-increases-child-marriage-and-fgm-risk-for-millions-un/>
- <https://www.usip.org/publications/2020/08/covid-will-lead-more-child-marriage-what-can-be-done>
- <https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/female-genital-mutilation>



参考資料

生殖の健康の侵害

- <https://pai.org/wp-content/uploads/2020/04/SRHR-and-COVID-4.17.pdf>

経済的落ち込み

- <https://www.unwomen.org/en/news/stories/2020/9/feature-covid-19-economic-impacts-on-women>

ネット上のいじめ

- https://www.equalitynow.org/covid_19_online_exploitation
- <https://www.worldbank.org/en/news/feature/2020/05/15/estigma-cuarentena-covid-lgbti>
- <https://www.childrenandaids.org/sites/default/files/2020-04/Public%20Agenda%20for%20Action.pdf>
- <https://time.com/5892297/women-coronavirus-metal-health/#:~:text=In%20%20new%20study%20conducted,suffering%20from%20significant%20mental%20health>
- <https://www.un.org/development/desa/indigenouspeoples/covid-19.html>
- <https://ciso.economictimes.indiatimes.com/news/pak-rights-body-registers-189-increase-in-cyber-harassment-complaints-during-covid-19-lockdown/76188016>

おすすめのジェンダーに基づく暴力に関する映画

- <https://16days.thepixelproject.net/the-pixel-project-selection-2017-16-films-about-violence-against-women/>

おすすめの本

- [Invisible Women: Exposing Data Bias in a World Designed for Men- by Caroline Criado Perez](#)
- <https://www.thedailyvox.co.za/5-books-to-read-about-gender-based-violence/>





A product of

World YWCA@2020

Toolkit content developed by

Valerie Awino Opiyo with the support
of Talisa Avathay and Suchi Gaur.

Designed by

2626 Creative Studio

Funded by

Norwegian Church Aid



WorldYWCA



NORWEGIAN CHURCH AID
actalliance